



【校訓】 自立 不屈 進取

平成29年度

3月号

H30.3.10 発行

スタート時には、よくトラブル発生、でも・・・

校長 前田 浩二

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。今年1年、みなさんと一緒に過ごす中で、44人の団結力、行動力、そして、優しさに関心させられることばかりでした。頑張るみなさんだから、きっとそれぞれの道をしっかりと歩んでいくことと思えます。

しかし、4月の新生活スタート時には、慣れないせいもありよくトラブルが起こりがちです。私自身、過去を振り返ると、幾度となくトラブルに見舞われました。

知り合いもない山梨県の大学へひとり入学したときのことです。北九州を出発し、山梨県のA市に到着したときにはもう夜でした。6畳一間の下宿で、郷里から送っていた生活道具の入ったダンボール箱を開いていたとき惨劇は起こりました。勢いよく箱を開けた拍子にタオルで巻いていたはずの包丁が飛び出し、私の右手薬指を直撃しました。ざっくりと肉がえぐられ、まもなく血があふれ出てきました。助けてもらおうにも知り合いもなく、夜のことで病院にも行けず、ただタオルで押さえて止血するしかありませんでした。痛さよりも心細さで泣きたくなりました。共同の洗面所で血を洗い流していたとき、異変に気付いた隣の部屋の人が、声を掛けてくれ、応急処置をしてくれました。ただもう感謝、感謝でした。その後、同じ大学の先輩だということが分かり、様々な面でお世話になりました。

鹿児島で働き出してからも、転勤先でよく困ったことがありましたが、いつも親切な人と出会い、助けてもらいました。

さて、新しいスタートを切る卒業生のみなさん、慣れない環境で不安に思うことやトラブルもあるかもしれません。でも、きっと、そこで出会う人たちが助けてくれると思えます。新たな出会いの中で、活躍を期待しています。

立神の如く

<名付け>

4月に本校に入学してくる子どもたちの名簿が届いた。一人一人の名前を見ながら、「きっとこの子たちの名前には保護者の様々な思いや期待が込められているんだろう。」などと想像を巡らせた。

私が小学生の時、自分の名前の由来を調べてくるという宿題が出た。母に聞くと、叔母が名付けてくれたということだった。叔母は昭和の名優「鶴田浩二」のファンだったので、その名にあやかって決めたのだとか。一応は納得したもの、たった二人しかいない兄弟で、名前に差があるような気がした。私の兄は「博王」と書いて「ひろたか」と読む。漢字の意味を考えるとなにやら勉強が出来そうな名前である。そこで、自分の「浩」にも意味があるのではないかと思って、漢和辞典で調べてみた。すると、「水の広々としていること」と

あった。ああ、きっと、広い心を持った人間になってほしいという願いが込められているのだろうと勝手に解釈した。ところが、真相は全く違った。中学生の頃、名付け親の叔母と話をする機会があって、私が生まれた時の話題になった。出産時、父は職場にいたため、叔母が病院に付き添ってくれていたらしい。叔母は、父の職場に電話して、私が無事生まれたことを報告し、「浩二」という名前を父に提案した。すると、父は、「おう、ちょうど今、追加の工事が入ってきたけん、その名でよかぞ。」と快諾したそうだ。私は叔母の話を聞きながら、正直、心が折れそうになった。

自然、我が子の名付けには力が入った。由来はさておき、「浩二」という名は、誰でも読めて呼びやすいので気に入っている。しかし、「前田」という苗字も多いため、同姓同名が少なからずいる。一方で、兄の名前は珍しく、漢字の意味もいいのだが、読み方が特殊なため、一度で読めた人はいなくて嫌な思いをしたそうである。これらを踏まえて、我が子には、誰でも読めて、かつ、珍しい名前を付けようと思った。長女には「こうじ」の「こ」と、妻の「しのぶ」の「の」を取り、間に「and」の意味で「と」を入れ、しとやかなイメージで漢字を当て、「琴乃（ことの）」と名付けた。長男は、生涯一度も弱音を吐かなかった幕末の志士「高杉晋作」にあやかり、「晋作（しんさく）」にした。二男が生まれるときには、知り合いから、長男が「しんさく」だから「最新作」がいいのではと言われたが、却下した。ちょうど中学三年生の担任をしており、私立高校の受験の頃と重なったため、受験も二男も「だいじょうぶ」という意味で、この言葉から四音を取って、「大二郎（だいじろう）」と名付けた。江戸時代の家族ですか？と冷やかされることもあるが、自分ではよい名を付けたと思っている。しかし、親の期待とは裏腹に、長女はしとやかとは言い難く、長男は弱音ばかり吐いている。二男は何かとだいじょうぶではないことが多い。とかく子育ては難しい。だが、楽しい。

来年度入学する子どもたちの名前を見ながら、新しい出会いが楽しみになってきた。入学式は4月6日（金）である。（前田浩二）

希望の唄

3/1

2年生「立志の集い」がインフルエンザによる学級閉鎖のため3月に延期になりました。

枕崎を拠点として活動するスカバンドのARTSのリーダー、井上良久さんに講演していただき、さらには井上さんが所属している「BON DX」のメンバーも交えて、音楽活動や目標、夢について語っていただき、演奏も披露していただきました。生徒は井上さんらの思いを感じ取り、一緒に歌ったり手拍子したりしていました。



鹿児島学習定着度調査

1/18・19

県下の1年生、2年生が一斉に受けました。これまでに学習した内容で基礎的・基本的な問題、思考・表現を問う問題が、5教科、各30問程度出題されました。

Table with 6 columns: 教科, 国語, 社会, 数学, 理科, 英語. Rows for 1年, 県平均, 2年, 県平均.

県平均を下回っている教科もありますが、分析し、課題をふまえて授業方法や宿題に工夫をこらしていきます。

春休みの課題等をしっかり行い、4月に行われる標準学力検査、全国学力・学習状況調査に備えましょう。

初挑戦・初入賞

「体力アップ！チャレンジかごしま」（県教委）の取組で、3年生が体育大会で実施した集団連続長縄跳びが、3年生の部で県3位になりました。来年度も仲間と楽しく集団で協力し合いながら運動に取り組み、さらに体力向上を図っていきます。

- 第6回100文字作文コンクール 佳作 浜村菜乃子
第2回南薩地区中学校春季女子ソフトテニス大会 立神中・開聞中合同チーム 団体戦1年の部 2位

受賞おめでとう

【3月・4月の主な教育活動】

- 3月 弥生 March
13日(火) 卒業式
14日(水) 公立高校合格発表
23日(金) 修了式、地域生徒会
26日(月) 辞任式、PTA小中合同送別会
4月 卯月 April
6日(金) 新任式、始業式、入学式
9日(月) 知能検査、AAI検査
10日(火) 標準学力検査(～11)
11日(水) 授業参観・PTA、地域育成会長・給食集金担当者会
12日(木) 家庭訪問(大堀①1年のみ)身体計測
13日(金) 家庭訪問(大堀②)、PTA歓迎会
16日(月) 家庭訪問(田中・塩屋)
いじめ問題を考える週間
17日(火) 全国学力・学習状況調査(3年国数理) PTA新旧評議員会
18日(水) 家庭訪問(田中・塩屋)検尿
19日(木) 家庭訪問(下野原・牧園)検尿
20日(金) 家庭訪問(下野原・牧園)
23日(月) 家庭訪問(大塚)
26日(木) 眼科検診
27日(金) 心臓検診 5月2日(水) PTA総会

①次の計算をせよ。 24-8x2

②次の漢字を読み。 巖然とした事実

③次の漢字を書け。 タイハンの人

① 8 ② げんぜん ③大半